

平成27年第11回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

平成27年12月1日（火）午後4時

第一分庁舎2階会議室

2 出席者

教育長 畠山敏一

1番 大野聡一

2番 島津豊

3番 宮本玲子

4番 細川祝

3 出席職員

次長兼教育総務課長	殿村伸二	学校教育課長	宝田哲
生涯学習・スポーツ課長	宮崎悟	地域協働課長	吉崎敏
こども課長	中山明夫	学校給食センター所長	住田賀津彦
図書館長	高山茂樹	水族館博物館長	稲村修
埋没林博物館長	麻柄一志	教育総務課長代理	江田直樹
学校教育係長	矢野道宝	生涯学習・文化係長	藤田晶子
スポーツ係長	小林弘幸	教育総務課主任	明石主計

4 傍聴人 なし

5 会議の要旨

午後4時、畠山教育長が開会を宣する。

(1) 前回会議録の承認

全員異議なく承認した。

(2) 議案

議案第45号 魚津市優良青年・団体表彰について

藤田生涯学習・文化係長から説明し、全員異議なく承認した。

(3) 報告事項

① 平成27年度12月補正予算について

② 魚津市立片貝・吉島・西布施小学校統合準備会の状況について

③ (仮称)住吉・上中島・松倉統合小学校木造校舎新築事業設計業務公募型プロポーザルの結果について

④ 平成28年魚津市成人式について

(4) 議事

【清流小学校開校に向けての教育環境の整備等について】

【(仮称) 住吉・上中島・松倉統合小学校木造校舎新築事業設計業務公募型プロポーザルについて】

宮本委員

清流小学校関係の交流活動は着々と進められていると思うが、学童について、片貝、西布施の保護者の方の希望は把握しているか。

中山こども課長

清流小学校の学童については、基本(現在の)各小学校に戻って実施することになっている。片貝については、来年1年間は片貝公民館で行い、公民館が片貝小学校に移る段階で学童も小学校に戻る方向で地区と話をしている。西布施については、現在の西布施公民館で来年1年間お願いし、小学校跡の新しい拠点施設ができる再来年に公民館とともに移転する方向で話を進めている。

大野委員

住吉・上中島・松倉統合小学校について、住吉には児童センターがないことから、児童センター的なものを(新しい)学校の中に共有する考えはあるか。

殿村次長

大野委員が言われたように、他の統合校は近くに児童センターがある。今回の統合小学校には、なるべく学校施設内に学童保育を入れる方向で、こども課とも調整しながら進めている。

宮本委員

教育センターはどうなるのか。

殿村次長

基本的には、統合小学校建設に伴い解体するが、教育センターの機能については、統合により空いてくる閉校後の校舎に公民館機能と併せて集約化していきたいと考えている。学校の跡地利用については、市内部で方針が固まった後に、各地域で説明し、意見要望を聞きながら施設の集約化を進めることとしている。また、吉田記念館もあることから、早めに吉田さんへ事情説明に伺いたいと考えている。

細川委員

教育センター(の移転)に関して、適応指導教室についてはどうなるのか。

宝田学校教育課長

教育センター、適応指導教室も含め、学校跡地へ移転する方向になる。

大野委員

谷口さんが清流小学校の校旗を寄附されるということで、感謝状の贈呈など何か考えておかなければならない。また、統合により地域からの寄附は必要になってくると思うが、そういう(地域の)動きはあるのか。

殿村次長

新しい学校が建つところは、建設準備委員会などができて、行政で用意できないプラスアルファの部分の寄附していただける雰囲気は自然と立ち上がるが、清流の場合は既存の校舎を利用することから、なかなか組織立っての動きはない。今後、谷口さんのように個人的に寄附していただける方が出てくるとありがたい。

大野委員

新しい学校は、涼しくて暖かいシステムになっているが、清流小学校についてはどうなるのか。

殿村次長

東西中学校もエアコンを整備したところであり、今後、新しい学校も対応していくことにしている。教育委員会では、最初の統合校である清流小学校についても、異常気象等の暑さ対策を考慮し、設置に向け努力していきたいと考えている。

大野委員

西部中学校の風の塔が生徒には意外に不評である。新しい統合校にも風の塔が計画されているが、西部中学校と似たような形なのか。

殿村次長

これは現段階の提案内容であり、今後、ワークショップや基本設計で詰めていく。名前はいいが、実際に機能するのか精査していきたい。

大野委員

本江の統合校でも100mがとれないグラウンドはおかしいのではないかと問題になっている。これ（住吉の統合校）も100mが斜めになっている。直線で100mとれるグラウンドづくりはできないものか。そうした話もきっと出てくるのでうまくできれば対応してほしい。

殿村次長

地域の方からそうした意見を聞くので、限られた敷地ではあるが、全体の配置計画も含め可能な限り検討していきたい。

宮本委員

（学校配置計画の中の）職員室の位置として、学校全体の様子が把握しやすいと書いてある。グラウンドは把握しやすいが、学校全体とはどういうことか。教室で活動する様子はわかりにくいと思うが。

殿村次長

登校する子どもや、グラウンドの活動が見やすい場所として、このような表現になっている。（具体的配置は）検討段階で学校の先生の意見も聞いて進めていきたい。

島津委員

新しい学校と古い学校の格差が気になるが、例えば、IT関連やメディアセンターのような情報発信の場といったものについて、古い学校もそのような対応はできるのか。

殿村次長

清流小学校においても統合だけが目的ではなく、教育環境の充実を合わせてやっていく必要があり、ひとつとして、来年度は特別支援のタブレット化や、デジタル教科書の計画的導入などを清流小学校でモデル的に実施していきたいと考えている。ハードだけではなかなか授業もできないので、先生方の研修も行っていく必要がある。

将来的には英語の教科化も視野に、新築する統合校では、国際理解教室といった子どもたちが自然に英語に触れ合うような環境を整備したいと考えている。

畠山教育長

（統合校の建設）計画にあるように、12月から各代表者からなるワークショップを開き、今ほど指摘いただいたことを含め、提案事項を出してもらい、（新しい学校づくりを）どうしていくか話し合う予定にしている。

委員各位も再度持ち帰り、気になることがあれば問い合わせさせていただきたい。

大野委員

せっかくの全国初の木造3階建ての校舎であり、これから視察もあると思うので先進的な取り組みを行い、魚津の教育の充実を図っていただきたい。

午後4時50分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。